

学生VOICE

「跳ぶ」ってどんな気持ちですか？

曲げた棒の反発力に
上手に乗れると
体が宙に高く浮いて
気持ちがいいです。



重藤慶多

教育学部1年 Shigetou Keita



昨年、開催された「香港インターシティ陸上競技選手権大会」5m00cmを跳び、見事、優勝を果たした重藤慶多さんにお話を伺いました。

バーを越えたときの気持ち覚えていますか？
久々に爽快な気分でした！というのは、シーズンインしてから全く気持ちのいい跳躍できていなかったからです。踏み切りからバーに到達するまでは一瞬で、バーを越える瞬間はスローに見えました。

棒高跳を始めたきっかけは？

出身の中学校に、棒高跳を行える設備と教えられる先生がいて、その先生が誘ってくださったことから始まりました。それまでは棒高跳という競技があることすら知りませんでした。

思い出に残る大会は？

中学3年生の時に出場した全日中の陸上競技大会です。ほんのわずかな差で4位にまで沈

みました。優勝をとれる位置にいたので、悔しさがより鮮明に残っています。

「香港インターシティ陸上競技選手権大会」は、重藤さんにとって、どのような意味のある大会でしたか？

気候や食事、競技する時の環境などの違いを感じながらも、いつもと変わらないパフォーマンスをするという目標を達成することができました。それだけでなくシーズンインに失敗しているところを、結果的にはありますが本来の跳躍に戻す良い機会にもなりました。

これまで、紆余曲折もあったと思いますが、想い出すエピソードは？

最大の成長期だった中学生の時に体のあちこちが痛かったことですね。負担の大きい棒高跳によって体のあちこちが痛くて何をしようかと思うように体が動きませんでした。今では、その痛みは年を重ねるごとに記憶からなくなりつつありますが、将来、私が生徒に

陸上競技を教える時に重要な知識の一つだと思っています。

続けてこれた理由は？

中学から私に棒高跳を指導している先生のおかげです。その先生は私のことをよく理解して下さっていて、厳しい指導や巧みな話術でモチベーションを向上させてくれます。何回も競技に対して意欲を失いましたが、その度に持ち直すことができています。

なぜ、体育大学ではなく、香川大学を選ばれたのですか？

日本初の「公認記録が取れる室内競技場が併設された陸上競技場」が屋島にできたこと、実家暮らしの方が体調を調整しやすいからです。確かに、トレーニング設備や周りの環境に多少の違いはありますが、全ては競技に向かっていく意識によって競技力が変化すると思います。色々と総合的に考えて香川大学を選びました。

大学では、何を学びたいと思っていますか？
育った環境や、成長期で発育スピードなどが異なる一人ひとりの子供を心身ともに理解した上で適切に指導し、人間性を高められる方法です。保健体育や生徒指導の教師、陸上競技の指導にも必要なことではないかと思っています。そしてスポーツ科学も聞いたり調べたりして自分なりに勉強します。

これからの目標は？

大学在学中に5m70cmを跳んで世界大会に出場することです。まずは2年生で5m50cm跳びたいと思っています。そして、東京オリンピック2020に向かうために、あらゆる力を世界で通用するレベルにしていきたいと思っています。まずは体作りと基本の動きをしっかりと身につけていく予定です。

将来の夢は？

一つ目は世界大会に出場することです。二つ目は教師になり、陸上部の一顧問として香川

県の陸上競技の発展に寄与することです。「香川と言えば陸上でしょ！」と思われるくらいに県にしたいです。その為にまずは私も選手として実績をあげたいところです。

最後に、重藤さんにとって表彰台に立つという事は？

表彰台に立てる3位以内と、立ってない4位以下では価値が全然違うと思っています。メダルもそうですが、ほかの人の記憶にも残らないからです。ポーズはできるだけ見て楽しめるものを考えています。表彰台のポーズは優勝者が決めることが多いです。

香港インターシティ陸上競技選手権大会 / 出場選手は、中国(主要都市別)、韓国、日本、台湾、フィリピンを中心とした東アジア・東南アジアの選手。日本からは日本学生陸上競技連合が、毎年インカレで活躍した1・2年生から全国で10名程度を選抜し派遣している。男子棒高跳の世界記録は6m16cm、日本記録は5m83cmである。

重藤さんの跳躍を「香川大学 YouTube チャンネル」からご覧いただけます。



EVENT PHOTO



2017年度 インターナショナルウィーク

本学の国際交流活性化の機会とするため、海外留学に関する講演会や学生主体のイベント、パネル展示などを実施。6日(水)の留学学部長会議では7人の留学経験者及び留学生がそれぞれの活動内容を紹介し、発表後は意見交換が活発に行われました。



みんなで楽しむ音楽会 どきどきコンサート

会場となった東かがわ市交流プラザには、子どもとその保護者、約180人が来場。教育学部の青山夕夏教授監修のもと、モーツァルト作曲の『魔笛』を音楽劇で披露しました。『魔笛』は、世界中で親しまれ、現在でも最も人気のあるオペラの一つです。



学生支援プロジェクト事業 中間報告会

各プロジェクトチームから、現時点でのプロジェクトの進捗状況・成果や苦しみ、実施するなかで学んだこと、また、今後の改善点や抱負などについて、プレゼンテーションが行われ、発表後には、教職員から質疑応答や助言が行われました。

EVENT CALENDAR

■平成29年度後期

さぬきプログラム修了式

対象学部：インターナショナルオフィス
対象学年：プログラムを修了する外国人留学生
開催日：2/14(水) 13:30-14:30
開催場所：研究交流棟5階研究者交流スペース
問合せ：国際グループ
電話番号：087-832-1149

■平成29年度後期

外国人留学生フェアウェル交流会

対象学部：全学部
対象学年：全学年(特に卒業/修了する外国人留学生)
開催日：2/14(水) 15:00-17:00
開催場所：研究交流棟5階研究者交流スペース
問合せ：国際グループ
電話番号：087-832-1149

■公務員・国立大学法人等職員説明会

対象学部：全学部
対象学年：3年次、院1年次(主として)
開催日：2/14(水) 9:00-17:10
2/16(金) 9:00-17:10
開催場所：北3号館314講義室
問合せ：就職支援グループ
電話番号：087-832-1157

■学内合同企業説明会

(キャンパスフォーラム)
対象学部：全学部
対象学年：3年次、院1年次
開催日：2/22(木) 13:00-17:00
開催場所：第一体育館
問合せ：就職支援グループ
電話番号：087-832-1157

■学内合同業界研究セミナー

(ユニバースクリエイト)
対象学部：全学部
対象学年：全学年
開催日：2/20(火) 9:30-17:30
開催場所：第一体育館
問合せ：就職支援グループ
電話番号：087-832-1157

ご参加
お待ち
しています

